



ワイルドショック  
**SHOCK!**



# ステイフィクス SX パワーボックス

## 取扱説明書

販売代理店  
(直接購入された販売店をご記入ください)

購入年月日    年    月    日

重要:ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読み下さい。

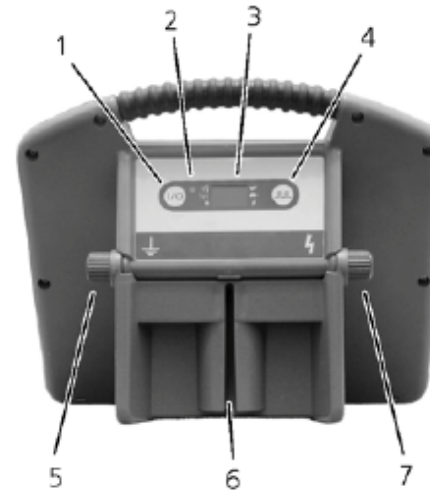
この度はステイフィクス SXパワーボックスをお買い上げいただきありがとうございます。

この製品は蓄積されたノウハウにより世界最高水準の最新技術を提供いたします。

### 1. 梱包内容

ソーラー付パワーボックス本体  
アース用コード(緑)  
通電コード(赤)  
取扱説明書  
保証書

### 2. 各部の名称

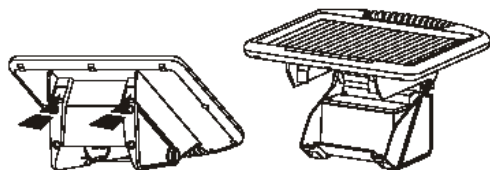
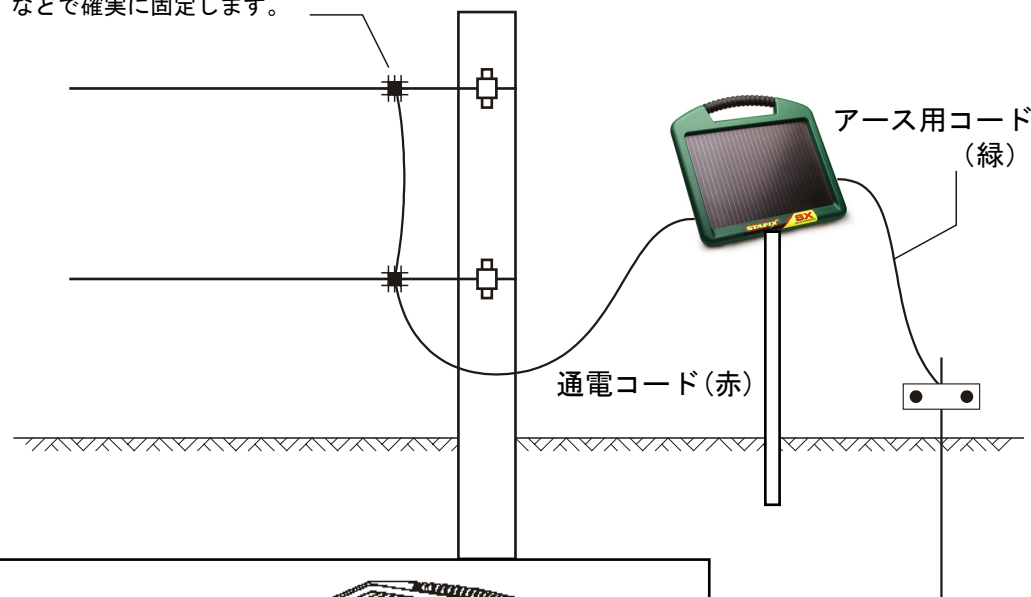


- |                |           |              |
|----------------|-----------|--------------|
| 1 オン/オフスイッチ    | 5 アース接続端子 | 9 バッテリー      |
| 2 パルス点滅表示ライト   | 6 支柱用穴    | 10 バッテリーボックス |
| 3 ディスプレイ       | 7 通電接続端子  | 11 脱着クリップ    |
| 4 パルススピード調整ボタン | 8 ソーラーパネル |              |

# 配線および取り付け方法

1. バッテリーを接続します。
2. 付属のアース棒を確実に地中に埋設します。
3. 緑のアースコードをアース棒に接続します。
4. 赤い通電コードをフェンスに接続します。
5. オン/オフスイッチで電源を入れます。
6. ディスプレイに電圧が表示されます。(kV表示)

接続箇所はジョイントクランプ(別売)  
などで確実に固定します。



## ○バッテリーの接続について

本器の脱着クリップを外しカバーをあけます。  
中にバッテリーが入っているので、付属のコネクターを  
赤は+端子に、黒は-端子に差し込みます。  
カバーを閉じます。  
バッテリーの容量が少なくなると、ディスプレイ上に電池のマークが表示されます。  
電池のマークが表示された場合約3/4の残量です。電池マークが点滅した場合は  
半分以下のバッテリー量を表します。

○パワーセーブ機能 バッテリー残量が低下すると自動的に速いパルスの場合  
遅いパルス作動に切り替わり、画面上に「PS」と表示されます。

※アース棒設置の詳細  
については専用アース  
棒付属の取扱説明書  
をご参照下さい。

## ○電源オン/オフ

1. 上記図の1のボタンを押すつづけるとディスプレイ画面に電圧数値が表示されます。
2. 電源を切る際にも押しつづけると電源が切れ画面の表示が消えます。

## ○出力電源設定

電源をオンにした状態で、簡潔に1のボタンを押すことで出力調整が可能です。  
ディスプレイ上の矢印が「1」を指しているとき最大出力で作動し、1回ボタンを押すと、  
矢印が1/2に移り、半分の出力で作動します。

## ○パルススピードの設定

パルススピードは4段階調整が可能です。電源オンの状態で、上記図の4のボタンを  
押すと、矢印を押すごとに移動します。



速いパルスで作動(日中1.5秒 夜1.5秒)



2箇所に矢印がつきます(日中1.5秒 夜3.5秒)



遅いパルスで作動(日中2.5秒 夜2.5秒)



2箇所に矢印がつきます(日中2.5秒 夜3.5秒)

## セキュリティコードの設定(必要のない場合は設定しないで下さい)

セキュリティコードを設定すると、セキュリティコードを入力しないと電源が入らない  
ようにすることが出来ます。

### ※注意！！

設定したコード番号はメモをとるなどして保存してください。  
コード入力を5回間違えると画面にHHと表示され、パワーボックスが使用できなくなり  
ます。HHと表示されたら販売店へお送り頂き解除に時間が掛かってしまいますので、必  
要のない場合は設定しないで下さい。

### ■セキュリティ番号設定

1. 電源をオンにします。
2. 画面上に00と表示されるまで1と4のボタンを同時に押します。  
鍵のマーク横に表示が点滅します。
3. 4のボタンを押して番号を設定します。(0から99までの数字を選ぶことが  
できます。
4. 数字が決まりましたら、1のボタンを3回押すと数字が保存されます。

### ■ロック時の電源の入れ方

1. 設定をすると電源オン時に「PP」と表示されます。
2. 4のボタンでコード番号を入力して1のボタンを押すと、ロックが解除されて  
電源が入ります。

### ■番号の変更

1. 電源を入れた状態で、1と4のボタンを同時に押します。「PP」が表示されたら、  
4のボタンを押して設定したコード番号を入力し、1のボタンを押します。
2. 表示が00になり鍵のマークの横に表示が点滅したら、4のボタンを押して番号  
を設定します。
3. 1のボタンを3回押すと新しい番号が保存されます。

### ■番号の消去

1. 電源を入れた状態で、1と4のボタンを同時に押します。「PP」が表示されたら、  
4のボタンを押して設定したコード番号を入力し、1のボタンを押します。
2. 表示が00になった時点で、1のボタンを3回押すとコードが消去され、鍵の  
マークが消灯します。

# 保守管理と取扱のコツ

たとえ故障がなくても、定期的な点検管理を行う必要があります、これが電気柵器利用による省力管理の第一歩です。

## ☆バッテリー定期交換

バッテリー式電気柵器の場合、バッテリーの電圧が生命です。  
バッテリーは、一般的に放電・充電を繰り返すと能力が下がっていきませんが、過放電は最も注意する必要があります。

## ☆電柵の電圧チェック

電圧が降下するとショックが低下します。従って脱柵を未然に防ぐために、電柵の電圧を常にチェックする必要があります。1～2日に一度柵の巡回点検をしてください。(地表面の導通具合により点検場所で異なります。)

牛、豚、犬、猫の例（野生動物の場合、下記の数値プラス500vを目安にしてください）

| 機種          | 安全範囲  | 使用限界  | 要点検     |
|-------------|-------|-------|---------|
| デジタルボルトメーター | 3000v | 2500v | 2500v未満 |

# 製品データ

|      |                  |
|------|------------------|
|      | SX               |
| 入力   | 12V              |
| 消費電流 | 25mA             |
| 最大電圧 | 8500V            |
| サイズ  | W370×H290×D210mm |
| 重量   | 5.2kg            |

# 故障かなと思ったら！

| 原因    |                     | 状態      |          |         |               | 対策(備考)                                                                          |
|-------|---------------------|---------|----------|---------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 点検順序↓ |                     | 器械が動かない | ランプ点滅が遅い | ショックが弱い | 途中から先のショックが弱い |                                                                                 |
| 電源部   | 電源コードの差し込み不良        | ●       |          |         |               |                                                                                 |
|       | バッテリーの＋と－接続を逆に行っている | ●       |          |         |               | ＋を逆接続すると、作動しないか、器械に負担がかかり故障の原因となります。                                            |
|       | バッテリーターミナルへの接続が不良   | ●       |          |         |               | 一度、接続を外しバッテリーターミナル部分を磨いて下さい。                                                    |
|       | バッテリーの電圧が低下している     |         | ●        |         |               | バッテリーは、その容量に応じて、定期的な充電計画をたて、実行して下さい。ソーラーの場合、壊れているかパネルの表面の汚れを点検してください。           |
|       |                     |         |          |         |               |                                                                                 |
| アース部  | アースが不完全             |         |          | ●       |               | アースをチェックして下さい。乾燥したところ又は雪の上ではショックが十分に出来ないことがあります。                                |
| 漏電関係  | 碍子が不良               |         |          | ●       |               | 明らかに破損している場合と、絶縁性能が低下している場合と電柵線が脱線している場合があります。前2つは碍子そのものを取替え、後者はバインド線で固定してください。 |
|       | 電柵線が草木が触れている        |         |          | ●       |               | 刈り取って下さい。<br>ラジオノイズの最大の原因です。                                                    |
|       | 電柵線が地面又はアースに触れている   |         |          | ●       |               |                                                                                 |
| 断線    | ライブ線が断線             |         |          |         | ●             | ポリワイヤー等のステンレス線が途中で断線していると、その先は電圧がかかりません。不良箇所を新しい線と交換して下さい。                      |
| 回路    | 回路内自体の故障            | ●       |          | ●       |               | 代理店、又は弊社へ相談して下さい。                                                               |
|       | 日照り続き               |         |          | ●       |               | 地表の電導性が悪くなり、ショックが低下します。                                                         |

電気柵器自体が故障することは、極めてまれです。ですから、もし故障かなと思ったら、上記の点検順序に従って、簡単な身近なところから点検してください。思わぬところに、よく原因があります。  
柵器自体の点検は、本体のみの無負荷状態で、試験します。専用テスターを用いて出力をはかり、機種に記載されている範囲の出力(ボルト)が出ていれば正常です。

## 安全上のご注意

ご使用の前に、この安全上の注意をよくお読みの上、正しくお使いください。  
※ここに示した注意事項は表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときに生じる被害や公害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



この表示は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

|                                          |                                           |
|------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 禁止 絶対に電子回路の修理・改造はしないで下さい。                | 禁止 濡れた手で、電源関係の作業は行わないで下さい。                |
| 禁止 使用対象は動物のみで、人間に対しては使用してはいけません。         | 禁止 電柵ワイヤーはとげがないものをご使用ください。                |
| フェンスには必ず「危険」の表示を行ってください                  | 禁止 電気柵は2次的な事故が発生する恐れのある所には設置しないで下さい。      |
| 禁止 幼児の手が届く範囲に電気柵関係機材を設置しないで下さい。          | 禁止 フェンス周囲には、鋭利なものが無い様にして下さい。              |
| 禁止 川や池など水の溜まっている所で、本器の電気を絶対通電しないで下さい。    | 禁止 足や物が引っかかるような位置にワイヤーを設置したり放置したりしないで下さい。 |
| 禁止 引火物は本器はもちろん、電源スイッチ、フェンスすべてに近づけないで下さい。 | 禁止 ローソク、蚊取り線香、タバコなどの火気を近づけないで下さい。         |
| 禁止 落雷時にはフェンスや本器に近づかないで下さい。               | 禁止 本器の中には一切余計なものを入れないで下さい。                |
| 禁止 体の自由が取れないような、狭い場所では使用しないで下さい。         |                                           |
|                                          |                                           |



この表示は「障害を負う可能性または物的障害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



禁止 電気柵工事で切り捨てたワイヤーなどは放置しないで下さい。



禁止 通電しないときは、フェンスは必ず撤去してください。

## ☆ラジオノイズ対策

電気柵器を長く使用していると、ラジオ・テレビに雑音が出ることがあります。これは電柵線のどこかに、下記の問題点が生じている証拠ですので、原因を明らかにして早急に対処して下さい。

1. 牧草や枝が伸びて、電柵線と接触している場合
2. 端子及び連結箇所が不完全な場合
3. 電柵線が脱線しているか、断線している場合
4. アンテナと電柵線が平行になっている場合
5. 電気柵器本体が故障している場合（原因では1%以下）

お問い合わせは

# ファームエイジ株式会社

北海道石狩郡当別町字金沢166 Tel.(0133)22-3060



フリーダイヤル エイジで 良い柵を

## 0120-82-4390

※携帯・PHSからもご利用になれます